

2021年度（令和3年度）一般選抜A日程

2次試験 問題

小論文

芸術文化観光専門職大学

芸術文化・観光学部 芸術文化・観光学科

注意事項

1. 試験監督者の指示があるまでは、この問題冊子は開かないでください。
2. この問題冊子は表紙のほかに1ページあります。
3. 問題は1題あります。
4. 解答用紙は1枚あります。
5. 各解答用紙には氏名及び受験番号の記入欄があります。試験監督者の指示に従い、すべての記入欄（氏名、受験番号各々1箇所）に記入してください。
6. 解答は解答用紙の所定の箇所に記入してください。
7. 解答用紙は横書きです。
8. 数字は1マスに1字ずつ記入してください。たとえば、10は2マスを使って記入してください。
9. 解答用紙の裏面には記入しないでください。
10. 下書き用紙は1枚あります。
11. 解答時間は90分です。
12. 試験終了後、問題冊子と下書き用紙は持ち帰ってください。

問 題

以下の文章を読んだ後に、最後に記された課題について 1,000 字から 1,200 字で答えなさい。

現在、日本では、高齢者による交通事故の報道が相次ぎ、運転免許の自主返納を求める動きがあります。

通常、運転免許の更新は 3 年から 5 年に一度ですが、72 歳になると一律で有効期間が 3 年となります。また免許更新の際に、運転の適性検査や、実際の運転講習を含む「高齢者講習」を受講しなければなりません。

さらに 75 歳以上になると、「認知機能検査」を受けます。この検査では、運転に必要な判断力や記憶力などを検査します。

自動車による死亡事故の件数自体は、自動ブレーキシステムなどの技術進歩により減少傾向にあります。しかしながら、重大な自動車事故のうち、75 歳以上の高齢ドライバーが引き起こす事故の割合が大きく増えたことや、マスコミなどが高齢者の自動車事故を多く取り上げるようになったことで、免許返納問題が社会の注目を集めることになりました。

免許返納制度は 1997 年(平成 9 年)の道路交通法改正で導入が決定し、翌年の 1998 年(平成 10 年)4 月より施行されています。

我が国では、運転免許証が身分証明書の代替の役割を果たす場合が多いため、免許証を返納しても「運転経歴証明書」も発行されます。

また、代理人による申請も認められています。

そのほか、現在では、各自治体で高齢者の免許返納を促進するために、様々な施策を行っていますが、必ずしもうまくいっているとは限らないのが現状です。

課題

- ・免許返納を促進するためには、どのような施策が必要かを考え、有効と思われる具体的な施策を三つ示してください。
- ・文章の構成も評価の対象となりますので、よく考えて小論文を作成してください。